

経営比較分析表（平成28年度決算）

山形県 遊佐町

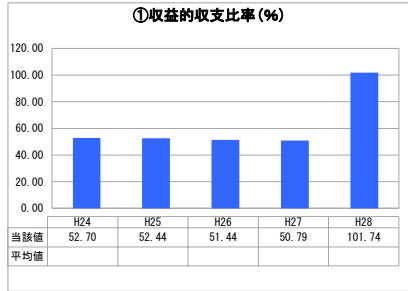
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20㎡ ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	11.13	92.28	3,672

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
14,340	208.39	68.81
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
1,587	1.15	1,380.00

グラフ凡例

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- 【】 平成28年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



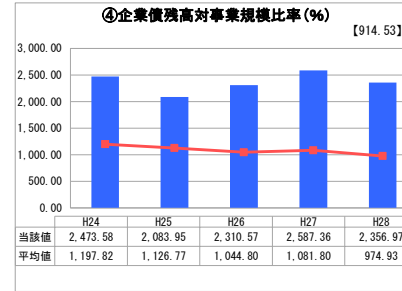
「単年度の収支」



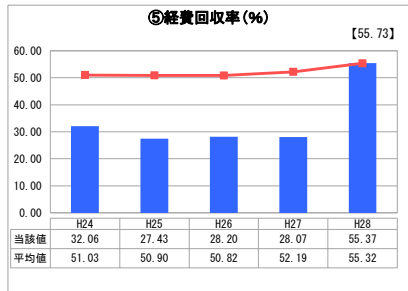
「累積欠損」



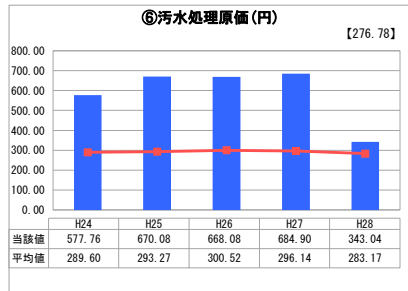
「支払能力」



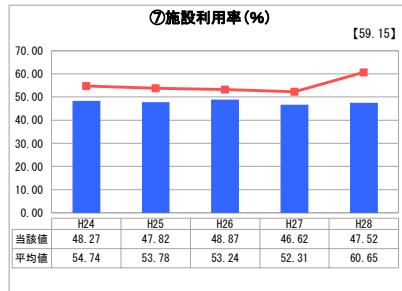
「債務残高」



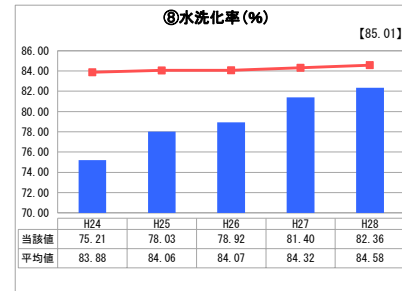
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

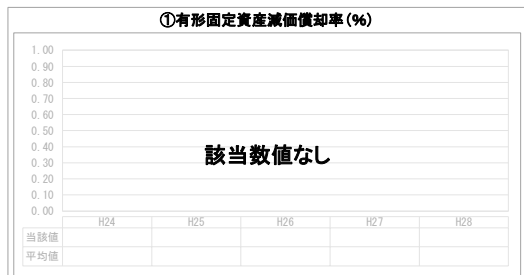


「施設の効率性」



「使用料対象の捕捉」

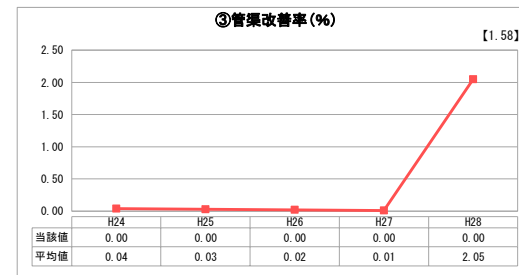
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- 収益的収支比率については、決算状況調査の計上数値の適正化により一般会計繰入金を収益的収入に計上したため総収益が増えて比率が向上した。
- 企業債残高対事業規模比率については、類似団体と比較して高い数値で推移しているが、新たな借入の予定がないことから今後比率は下がっていくと思われる。
- 経費回収率については、汚水処理原価が低くなったため大幅に向上し、類似団体の数値に近づいたが、100%を大きく下回っているため適正な料金収入の確保と経費の見直しが必要である。
- 汚水処理原価については、決算状況調査の計上数値の適正化により大幅に低い数値となった。そのため経費回収率の向上にもつながった。
- 施設利用率については、類似団体と比較して大差はなく、ほぼ横ばいで推移している。
- 水洗化率については、類似団体と比較して低い数値で推移しているが改善傾向にある。整備工事が完了しているため、さらなる接続率の向上に向けた取組が必要である。

2. 老朽化の状況について

管渠の更新等については未着手である。法定耐用年数が経過するまで期間があるが、計画的な更新について検討が必要である。

全体総括

決算状況調査の計上数値の適正化により汚水処理費が減少したことによって、収益的収支比率、汚水処理原価が改善傾向に転じた。しかしながら経費回収率については昨年度と比較して改善はしたものの100%を大きく下回っており、使用料以外の収入で賄っている部分が多いため、経営が安定しているとは言いがたい状況である。水洗化率のさらなる向上と的確な徴収に努め使用料収入の増加を図るとともに、汚水処理費にかかる経費の見直しを行い経営改善を図る必要がある。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成24年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。